

ながさき 県議会だより

2月定例会



審査した案件と結果

知事提出の議案	議員等提出の案件
・予算 34件(可決)	・発議 4件(可決)
・条例 25件(可決)	・意見書 3件(可決)
・事件 24件(可決)	
・計画 7件(可決)	
・人事 4件(同意)	

可決された意見書

- 離島・半島地域の振興対策に関する意見書
- 観光振興及び交通対策に関する意見書
- 人口減少・雇用対策に関する意見書



議長記者会見を行いました。

具体的には、県民に身近な課題として信頼される様々な地域課題に対応し、魅力ある地域づくりに繋いでいくため、「公務活動費の抜本的見直し」「デジタル化の推進」「県立大学との連携」などを進めていくこととしています。

なお、3月23日に県立大学と連携協定を締結しましたが、県議会と大学との協定は九州において初めてとなります。



議長 山崎 隆生
2月定例会を終えての所感に続き、県議会の目指す方向性について説明しました。

令和3年2月定例会が開催され活発な論議が交わされました。

令和3年2月定例会は、2月24日から3月19日まで開かれました。開会初日は、3つの特別委員会から委員長報告が行われた後、3件の意見書を可決しました。

その後、各常任委員会及び議会運営委員会の構成を決定し、併せて、離島・半島地域振興特別委員会、観光・IR・新幹線対策特別委員会及び新型コロナウイルス感染症対策・経済対策特別委員会を設置し、その構成を決定しました。

次に、長崎県議会会議規則の一部を改正する規則「長崎県議会委員会条例の一部を改正する条例」及び「長崎県政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例」の3件を可決しました。

また、令和3年度長崎県一般会計予算などの議案が上程され、中村知事が県政の重要事項について報告し、当面する諸課題について所信を述べるとともに、関連する議案について提案理由の説明を行いました。

一般質問では、12名の議員が登壇し、令和3年度当初予算案、九州新幹線西九州ルート整備促進、新型コロナウイルス感染症対策、防災減災・土砂災害対策、令和元年政令でデジタル化推進島原半島の道路整備、核兵器廃絶および被爆者支援に向けた取り組み、骨髄ドナー支援制度の導入、2025年の長崎県の姿、夜間中学校、県立高校におけるICT教育の推進など様々な事項について活発な論議が交わされました。

令和3年度の当初予算の総額は、一般会計で7,486億3,121万2,000円、特別会計で1,984億7,814万4,000円、企業会計で75億8,985万2,000円となり、令和2年度当初予算と比較して一般会計の伸び率は3.1%の増となりました。

また、令和2年度一般会計補正予算は、国の経済対策補正予算への対応や新型コロナウイルス感染症対策等のため、一般会計で1,642億9,627万9,000円の増額補正となりました。

本定例会では、予算議案を含め98件の議案を原案のとおり可決、同意し、離島・半島地域の振興対策に関する意見書などの3件の意見書を可決し閉会しました。

一般質問

#7119救急安心センターの設置について

山下 博史 (佐世保市/北松浦郡/自由民主党)

【質問】コロナ禍の蔓延に伴い、住民が救急車を呼ぶべきか、真つづく病院に行くべきか迷うケースが増えていると聞いている。迷った際の相談窓口として、国が#7119救急安心センター事業を推進しているが、本県では未設置であり、設置についての見解は、

【答弁】国の財政措置の見直しなどを踏まえ、関係部局と連携し、市町などとともに意見交換を重ねたい。

洋上風力発電について

山口 初實 (諫早市/改革21)

【質問】対馬市は県と共同で洋上風力発電ソーリング導入可能性検討事業に取り組んでいるが、具体的な県の取組と対応は、

【答弁】令和元年度から今年度にかけて対馬市、吉敷市の周辺海域におけるソーリング調査を実施した。今後、洋上風力発電海域の選定に向けて、地元自治体が主体となる協議協議業者等との関係構築を図りたい。

石木ダムの整備推進について

中島 廣義 (東彼杵郡/自由民主党・県民会議)

【質問】石木ダムに反対される住民と生活再建や地域振興に向けて意見交換の場を設ける必要があると考えるが、具体的にどのような取り組みを行っているのか、

【答弁】反対住民の方々は、令和元年9月に面会が実現し、その後も話し合いの機会が持たれている。条件が整えば、静かな環境のもと話し合いを行いたいと考えており、今後もその実現に向けて努力する。

対馬における特別支援教育の充実について

坂本 智徳 (対馬市/自由民主党)

【質問】対馬市には、特別支援学校の小学校部と中学校部が設置されていないが、今後の設置に向けてどのように考えているのか、

【答弁】一人ひとりの子どもたちにとって最適な学びの場を十分に考慮し、設置場所や通学方法を踏まえた上で、就学が見込まれる人数の精査が必要である。今後、対馬市教育委員会と連携し協議を進めながら設置の可能性を検討したい。

コロナ禍における県の取組について

坂本 浩 (長崎市/改革21)

【質問】コロナ禍において、社会的弱者をめぐり様々な課題が顕在化しているが、県は部局横断の課題共有と支援体制の構築にどのような取組を行っているのか、

【答弁】地域福祉支援計画(第5期)長崎県福祉保健総合計画(第6期)において、課題を共有するとともに、国の動向を注視しながら、地域福祉のより一層の充実を図るための各種施策を推進するとともに、関係部局が横断連携して取り組む。

島原半島の道路整備について

中島 浩介 (南島原市/自由民主党・県民会議)

【質問】島原半島の延伸となる南島原市深江町から口津港までの早期事業化についての見解は、

【答弁】当該区間の整備は、南島原市の観光や産業の振興を図る上でも大変重要と認識しており、島原半島の事業進捗を見極めながら、整備の方向性について検討を深めたい。来年度から地域や道路の諸課題について、地元関係者と意見交換を実施することとしている。

行政のデジタル化推進について

下条 博文 (長崎市/自由民主党)

【質問】本年9月に、国のデジタル庁が新設されるが、情報デジタル化に向けた知事の姿勢は、

【答弁】デジタル社会の形成は、県にとって重要な課題の一つと考えており、昨年9月に産学官金の連携によるながさきSociety5.0推進プラットフォームを立ち上げ、協力を立ち上げ、協議、検討を進めている。行政内部でもICTによる業務効率化や人材育成に取り組むことで、デジタル改革を進めていく。

鷹島水中遺跡について

石本 政弘 (松浦市/自由民主党・県民会議)

【質問】木製いかりの引き揚げや保存処理には多額の費用がかかるが、国や県としてどのような対応を行っているのか、

【答弁】鷹島海中遺跡の発掘調査は、国及び県の補助事業の対象としており、調査費用の内、県は補助費の2割以内を補助している。木製のいかりの引き揚げや保存処理についても、これまでの対応と同様の枠組みで財政支援を行っている。引き続き、引き揚げの機会を通して、町へ制度創設を働きかけていきたい。

県立高校のICT教育推進について

赤木 幸仁 (長崎市/改革21)

【質問】県立高校において1人1台の端末が配布されることとなっているが、どのような部分で生徒の学びが深まるのか、

【答弁】インターネットを使った情報検索や個々の習熟度に応じた問題演習等、個別最適化された主体的な学習を通して、生徒の学習意欲の向上に繋がること、校外の生徒と校内の生徒とが対話的な学びを通して思考力が深まること、期待している。

障がい者施策について

宮本 広広 (佐世保市/北松浦郡/公明党)

【質問】手話を読みとれない中途失聴者等のために、見聞放送等に音声の認識字幕を導入するべきと考えるが、県の見解は、

【答弁】音声の認識字幕は、リアルタイムで情報を伝達できる利点があるが、音源認識ソフトには、誤変換への対応や運用に係る費用等の課題があり、効果的検討が必要である。引き続き工夫を重ねながら、今度以上迅速かつ正確な情報提供に努めたい。

2025年の長崎県の姿について

宅島 寿一 (雲仙市/自由民主党)

【質問】2025年の本県の姿をどのように描き目指していくのか、

【答弁】外国人来訪者や多様な交流事業が回復し、産業構造も多様な産業構造の転換が進むほか、まちづくりの分野では、県内各地に交流型施設が生まれ、高齢者や若年層が活躍する住み慣れた地域で安心して暮らすことができる。長崎県域において、長崎県域の魅力を維持し、持続可能な地域づくりを進めたい。

骨髄ドナー支援制度の導入について

北村 貴寿 (大村市/自由民主党)

【質問】骨髄ドナー支援制度を導入していない県内自治体はどうか、

【答弁】これまでスクラムミーティングや市町担当課長会議等で支援制度創設のお願いをしてきた。大村市、佐世保市が既に導入しているが、令和3年度の制度創設に向けて長崎県ほか7市町で要望求めている。引き続き、機会を通して町へ制度創設を働きかけていきたい。

常任委員会

予算決算委員会 委員長/山本 由夫

【質問】農業分野でのスマート農業技術導入による主な取り組みは、

【答弁】水稲では、直進アシスト付のトラクターや田植え機、ランコンの草刈機、露地野菜では、生産高予測システムやAIを利用した自動選果システム、施設園芸では、環境制御技術による単収向上に取り組んでいる。

【主な論議事項】新型コロナウイルス感染症対策について/県民所得向上対策について/新幹線開業に向けた取組について/佐世保重工業等の離職者対策について 等

農水経済委員会 委員長/久保田 将誠

【質問】長崎県漁港管理条例を改正する背景は、

【答弁】昨年4月に長崎港に停泊していたコスタアトランチカ号での新型コロナウイルス感染症のクラスター発生事例を受け、県漁港管理条例が改正されたことから、同様の改正を行うものである。

【主な論議事項】Nびかの実績と効果について/漁業協同組合の合併の進捗状況について/ながさき森林環境税の成果について/事業承継の推進について 等

環境生活建設委員会 委員長/中村 一三

【質問】長崎県観光振興基本計画に関し、リピーター率を向上させるため、どのような取り組みを行っているのか、

【答弁】長崎でしかできない体験や食、歴史、文化を体感していただくため、市町と連携した観光まちづくりを推進するとともに、情報発信をしっかりと行っている。

【主な論議事項】契約の締結について/公の施設の指定管理者の指定について/建設工事事業者の安全及び健康の確保に関する長崎県計画(案)について 等

文教厚生委員会 委員長/浦川 基継

【質問】県立大学の県内就職率向上について、求人企業の開拓にどのような取り組みを行っているのか、

【答弁】昨年度から、県立大学OB等が就職した企業を中心に企業訪問を実施し、状況の把握やインターンシップ受け入れの聞き取りなどの取り組みを行っている。

【主な論議事項】財産の取得について/長崎県再犯防止推進計画(案)について/ワークシンの優先接種と情報発信等について/情報セキュリティ産学共同研究センター(仮称)の取り組みについて 等

総務委員会 委員長/浅田 ますみ

【質問】長崎県迷惑行為等防止条例の改正の背景は、

【答弁】現行の条例で規制できない業種においても悪質な客引きが常態化していることから、それらを取り締まり、安全安心な社会をつくるため必要の改正を行う。

【主な論議事項】ながさきSociety5.0推進プランについて/過疎対策について/地方機関の再編について/人身安全関連事業への取組について/離島の夜間緊急搬送ヘリについて/長崎県財政運営プラン2025(案)について 等

特別委員会の意見書 長崎県議会では、昨年2月に3つの特別委員会を設置し、それぞれ特定の事項について審査を行い、この度、意見書を提出しました。

人口減少・雇用対策特別委員会 委員長/山口 初實

「人口減少・雇用対策に関する意見書」において、

- ①社会減対策について、新たな基幹産業の創出による良質な雇用の場の創出と経済の好循環の実現、新たな地方回帰の流れを踏まえた通信環境の整備や就職・転職支援等の環境整備、統計データの活用による要因分析を通じた実効性の高い施策の実施
- ②人材確保対策について、雇用環境等の悪化に対する全庁を挙げた対策や適時適切な支援の実施、情報関連産業を本県の成長産業とするため大学をはじめとした産学官金連携の推進と資格取得支援やリカレント教育等の充実
- ③若者・女性対策について、若者や女性に選ばれやすい魅力的な働く場の創出、女性が働きやすい環境を整えている企業の見える化や情報発信等の推進、キャリア教育やふるさと教育のさらなる充実などを要望しました。

観光振興・交通対策特別委員会 委員長/八江 利香

「観光振興及び交通対策に関する意見書」において、

- ①IR対策について、区域認定を獲得することができる区域整備計画の作成、交通アクセスの強化、県民の理解促進、キャンセル依存症などへの十分な対策
- ②新幹線対策について、新鳥栖～武雄温泉間のフル規格による整備実現、並行在来線等の諸課題の解決、新幹線駅周辺のまちづくりの促進、開業効果の向上・波及拡大
- ③観光振興対策について、コロナ禍の経験を踏まえた観光振興施策の推進、県内や近隣県からの観光需要の掘り起こしと取り込み
- ④国際戦略について、コロナ収束後を見据えた戦略的・計画的な取組、本県の魅力や安全・安心への取組に関する情報発信の強化
- ⑤交通対策について、長崎空港の24時間化の実現及び国際定期航空路線の再開・誘致に向けた取組などを要望しました。

離島・半島地域振興特別委員会 委員長/山下 博史

「離島・半島地域の振興に関する意見書」において、

- ①離島・半島地域振興対策については、一次産業におけるIT化の導入支援、水産物の産地における流通・加工機能の強化、農業関係予算の確保・充実、地域に合った農地の基盤整備や水田の畑地化の推進、半島地域振興施策の積極的な取組、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策・支援の強化
- ②有人国境離島法については、特定有人国境離島地域社会維持推進交付金の予算規模の維持及び交付金対象事業の拡充、雇用機会拡充事業の課題の分析や優良事例の他市町へへの横展開、漁業者の安全と操業の安定に向けた国への働きかけ
- ③離島地域航空・航空路対策については、離島地域航空・航空路の維持に向けた支援・取組などを要望しました。

委員会	委員長	副委員長	委員	委員会	委員長	副委員長	委員	委員会	委員長	副委員長	委員	
総務委員会 (11名)	浅田ますみ	下条博文	田中愛国 宮島大典 齋藤敦子	山本啓介 大場博文 宮本広広 石本政弘	農水経済委員会 (11名)	久保田将誠	山口 純正	浦川基継 坂本智徳 外間雅広 西川克己 山口初實 川崎祥司 吉村洋 山本由夫 堀 典子	離島・半島地域振興特別委員会 (10名)	下条博文	山本由夫	田中愛国 堀江ひとみ 宅島寿一 麻生隆 山口純正 近藤智昭 宮島大典 中村泰輔
文教厚生委員会 (12名)	浦川基継	中島浩介	中山功 徳永達也 堀江ひとみ 山田朋子 ころまなみ 宅島寿一 麻生隆 山下博史 中村泰輔 千住良治	予算決算委員会 (45名)	山本由夫	ころまなみ	議長、正副委員長を除く全議員	観光・IR・新幹線対策特別委員会 (10名)	石本政弘	齋藤敦子	八江利香 小林克敏 坂本智徳 山口初實 川崎祥司 久保田将誠 浦川基継 千住良治	
環境生活建設委員会 (11名) (4月1日から名称変更)	中村一三	北村貴寿	八江利香 前田哲也 深堀ひろし 松本洋介 赤木幸仁 坂口慎一	議会運営委員会 (13名)	外間雅広	大場博文	中山功 徳永達也 山田朋子 浅田ますみ 西川克己 前田哲也 中島浩介 山本啓介 宮本広広 堀 典子 北村貴寿	新型コロナウイルス感染症・経済対策特別委員会 (10名)	深堀ひろし	山下博史	浦川基継 山田博司 ころまなみ 松本洋介 中村一三 赤木幸仁 坂口慎一	

動画配信 本会議・委員会の中継・録画配信を行っています。一般質問の標題横のQRコードから当該一般質問の録画にアクセスできます。

ホームページ・会議録 次回定例会 令和3年6月18日に開催予定です。

テレビ放送 「県議会リポート」4月17日(土)15:55~16:25 NCC長崎文化放送 5ch